

会報

あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所 松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会 〒100東京都千代田区大手町 2-6-2日本ビル6F phone.03-3279-2771代 発行人 森山修二

総会と懇親会

三四〇名が出席予定 五月末の集計によれば、第

二五回松本県ヶ丘高等学校東京同窓会への出席予定者は、三四〇名に達した。この数字

は、過去最高である。偶然とはいえ時の巡りが重なり、節目となる年にあたり、「記念

の会」の様相を帯びたものと思われる。名簿の拡充・整理にもはずみがつこう。

新しい世紀へ

会員第25回総会



いまだ焦土であった東京に同窓会が誕生して四十五年、今年はその二五回目の総会。母校は去る四月、第七十回創立記念式典を終えた。

カテドラルにも似て二一世紀に向って屹立する都庁に象徴される東京には、多くの同窓生がいる。母なる県ヶ丘の血を確かめあつて、精神の原郷「アルカディア」に集うのだ。

第二回卒業の一人として

今年の一月三日、川崎の競技場で母校のサッカーチームが国見高校と対戦するというので張り切って出掛けた。いき足で入り口に立つと、若い青年が深々と頭を下げて私を

樋口和博

東京同窓会名誉会長(中回)

〔2面へ続く〕

観覧席に案内してくれた。どいうやら特別席らしい。私は、てつきり母校の方が案内してくれたものと考えて座席についていた。ところが、その座席のかた

まりの中に私の知り合いの者が一人もいない。周囲の人たちの言葉がどうやら九州弁らしい。グラウンドを越え、真向かいには県ヶ丘の校旗が揺れ、応援歌がしきりに聞こえてく

親睦と協力の輪を

東京同窓会長 大澤清重(中二回)

同窓生の皆様におかれましては、益々ご多用ご活躍のことと存じます。本年は母校創立七十周年、そして東京同窓会がうぶ声をあげて四十五年集うこと二十五回目の記念すべき年であります。

終戦後の何もない時代に、故郷から上京して勉学に励み、また実社会で活躍していた在京同窓生の力となるために手弁当で会を重ねてきました。ひとくちに四十五年、二十五回といいますが、経済社会の目まぐるしい変動の中にあつて絶えることなく今日まで継続できたのも、ひとえに歴代会長をはじめ、関係各位の献

る。さては案内者に間違えられたものと思つたが、今更動きもとれない。臨席の老人が、「県ヶ丘という学校は信州の山の中の学校と聞いたとるが、なかなかの強さじゃ。それに応援団もたいしたもんですな。これじゃ、一点先取した国見もひよつとするとやられるか

身的なご努力の結果にほかなりません。特に、昭和五十九年からは、それまで隔年開催であった総会を毎年開催に切り替え、新卒会員の招待をはじめ、卒業三十年目の同期生が実行委員会を形成して運営にあたるなど、組織の拡大・充実も着実に進んで来りました。これも発足当時の気持ちが続いて流れて、同窓生にひきつがれていることの表れであると思ひます。

今、世界はひとつに、を目標に二十一世紀に向かっております。しかし世界の各地に色々な不協和音があり、日本においてもバブル経済の崩壊の後、モラルの再構築が叫ばれております。 こうした時代であるからこそ、多感な青春時代を送つたふるさとを想い、母校をしのび、真剣に語つた一時や、グラウンド狭しと駆け巡つた日々を思いをひたし、ひとつ学舎に心を並べたものの横の広がり(三十周年記念事業に見られるような)縦のつながりを調和させて、同窓生相互の親睦と協力、援助の輪を広げる必然性があるものと思ひます。 毎年担当される卒業三十年目の同期会の皆さんの色々な知恵や工夫により、楽しくかつ有意義な同窓会が続けられております。 こうして連続と続く東京同窓会の更なる飛躍のためにも、引き続き、新卒会員をはじめとした会員の発掘と、各同期の結束、更には財政基盤の確率に向けた、本部同窓会との関係強化と同時に、日常生活の活性化を進めていかなければなりません。 これらも同窓生一人ひとりが、自分の役割を果たすことにより、実現するものです。 今回も十四期卒(三七七名)の皆様により盛大な総会が開催される運びとなりました。会員各位の力を結集し、この意義ある二十五回同窓会を盛大にかる有意義に終わることが出来る様願つてやみません。 今後とも本同窓会がますます充実し発展出来るよう、同窓生諸氏の絶大なご協力をお願いするものです。 終わりに同窓生皆々様のご健勝と益々のご活躍をお祈りいたします。

もっ、担いで運動場作り

樋口和博

[面より続く]

も知れんわ。」と心配そうに私に話しかける。私は「そうですね。たいした力量のある学校ですな。応援団も統制がとれて素晴らしいですな。」と答えていると、相手方も安心して私を国見の味方と決め込んでいる。その代わりに県ヶ丘の進撃が素晴らしい手に汗を握るようなときでも、大きな声援を送ったり、手を叩くことも出来ない。敵陣地の中で捕虜になったのか、スパイにさせられたのか甚だ心細い。試合の結果は、実力を十分に持った母校がただ一点で泣いた惜しい試合だった。

隣の老人は、「決勝戦にも是非来て下さい」との言葉を残して立ち去った。私のスパイ観戦もこれで終わったのである。先年、西ヶ原サッカー場で帝京と対戦したときは、上條勲校長先生が、「県ヶ丘頑張れ」とか何とか書いた自作の旗一竿を持ってきて、その周辺に数十名の母校出身の応援団が集まり、あの派手やかな帝京高校の応援団と相対峙した当時の応援振りを顧みると、今昔の感が深い。あのとき私の隣にいた老人が、「お宅の学校は地味な応援ですな。これが

本当の学生らしい応援ですな。」と言って替わってもらったことを忘れられない。
母校県ヶ丘のサッカーが全国制覇を狙うようになったことを最も喜ぶのは、今は亡き初代校長小松武平先生と教頭の松本寛次先生であろう。当時、県下の中学は何れも野球に夢中になっているとき、小松先生は、松本第二中学はサッカーをもって校技とする、

サッカーは一部の者だけでなく生徒全員で楽しむものに敵している最高の運動である、とのご意見であった。私も第一回入学生百名は、サッカーを楽しまないばかりに勉強の合間をみて、もっこを担ぎ、土や石を運んで運動場を作り、そこで毎日のようにサッカーらしいものをやっていた。なお、教頭の松本先生は当時から日本のサッカー連盟の有刀

なメンバーとして活躍しておられた人でもあった。老人は過去の思い出を語り、私はこの際、第一回の卒業の一老人として、母校発足当時の意気込みを語らなければならぬ。小松校長先生は、「実質剛健」と共に「大道を闊歩せよ」とか、「弱音をほくな」とかいふ厳しい教育方針に徹底された。他面、その頃他の学校で入場を禁止されていた映画館にも制服制帽で堂々と出入りしていたし、文字通り大威張りで、本堂に堂々と大道を闊歩できたのも先生の教

育の賜物である。私は、昭和二十一年に松本の裁判所に転任となり、その頃から約十三年間松本の本部同窓会長をやりに、昭和三十四年東京に転任になってから十数年間に亘り、東京同窓会長をやった。このことを通じて、母校同窓会の結束の固さ、お互いに結び合う友情の厚さは他に類をみないところであり、我が愛する母校が既に七十周年を迎えようとし、東京同窓会もまた二十五回を迎えようとするに際し、唯々感慨深いものを覚える。

新しい核が形成されていくのも楽しみである。樋口和博元会長はじめお元気な先輩たちにお目にかかれるのも嬉しい

東京同窓会が四十五年、二十五回総会を迎えるという。誠にめでたいことである。もともと、私は東京同窓会の会員ではないが、いつの間にか会員名簿に載せられている。おそらく広告賛成会員から昇格させられたことだろうと、同期(高一)の森山君ののからいに感謝している。

元談はさておき、毎年、関西の代表としてお招きをいただき、何とか二回に一回のペースを守っている。出席するたびに、東京同窓会の発展ぶりには目を見張る思いだ。隔年の総会が毎年開催となり、出席者もふえた。何より実行委員会のリレーにより、年々

限りだ。今年も出席を予定している。ところで、東京同窓会の四十五年といえば私の在京の時

発展に眼見張る

関西の名簿も二〇〇名超える

石川元也

関西同窓会会長(二十回)

年、西村秀美前会長の肝入りでできて、それから東京同窓会との交流がはじまった。大抵、仕事や弁護士会のこと

さて、関西同窓会も新しい名簿では二百名をはるかに越える。最近の総会では最高の三十名余が集まった。高校十回卒の人たちがグループで、会をリードしてくれるようになり、新たな盛り上がりを見せている。

世界一の
東京タワー
東京タワー観光株
代表取締役社長 **大澤清重** 中13回
東京都港区芝公園4-2-8 phone.03-3433-5111

輸出入・国内販売
鉄鉱石・石灰・鉄鋼原料全般・鉄鋼製品・各種産業機械・石油製品・化学工業薬品
東南貿易株式会社
代表取締役社長 **根本静夫** 中5回
【本社】東京都千代田区大手町2-6-2日本ビル6F phone.03-3279-2771-8

弁護士
樋口和博
中1回
【事務所】〒102 東京都千代田区九段北4-1-5 市ヶ谷法曹ビル203号室 phone.03-3230-4005
【自宅】世田谷区喜多見3-21-15 phone.03-3416-2904

新しい教訓 愛し合い、生き合おう

大野喜佐雄 中十回
松本県ヶ丘高等学校同窓会長

今年の春母校を巣立った四百五名の卒業生を加え、同窓会員も一万九千余名になりました。地域支部も最近あいついで結成され、本会活動も年々強化されつつあります。連帯の輪が母なる県陵を育成し、父である初代小松武平校長の三大遺訓が、心の中に結実しつつある現在を飲んでおります。

有賀正副会長が県陵初の松本市長に当選しました。藤本後援会長を中心に同窓生は燃えました。汗また汗の中での草の根選挙を展開し、雪崩れ込むように十五日に突入したのです。皆様のこの選挙に賭けた熱い情熱を肌で知りました。各市町村、遠くは東京、関西の同窓会からも、直接間接に強いご協力をいただいたことに深く感謝します。有賀市長の信念・公約・実行力を信じ

て戦った結果ですが、それにも増して、敵しい選挙戦を通して、同窓生の強固な結果が確認されたことが最大の収穫でした。同窓会という組織は他の組織と異なり自然発生的なものであります。父母の下に集う子供達のように皆が結束しました。愛し合ったということ、生き合ったということと同義語です。これが教訓でした。

先に述べた通り二万名に近て戦った結果ですが、それにも増して、敵しい選挙戦を通して、同窓生の強固な結果が確認されたことが最大の収穫でした。同窓会という組織は他の組織と異なり自然発生的なものであります。父母の下に集う子供達のように皆が結束しました。愛し合ったということ、生き合ったということと同義語です。これが教訓でした。

国に発売されたことは知っている方も多しと思います。人生の不確かさの中にある愛の絆の哀歌を訴え、限りある生の営みを「終わりのない船出のために闘う兵士」と象徴し、(時は巡り花は褪せても志を果して眠らん)とリフレインしています。校歌の四番(若き我等は務をおえん、若き我等は事なしおえん)を連想させませんか。

新緑もひときわ色濃くなつてまいりました。松本県ヶ丘高校東京同窓会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のことご推察申し上げます。日頃皆様には、本校の教育振興のために物心両面に亘つてご支援、ご協力を賜っていることに對しまして衷心より厚く御礼申し上げます。

有賀正副会長が県陵初の松本市長に当選しました。藤本後援会長を中心に同窓生は燃えました。汗また汗の中での草の根選挙を展開し、雪崩れ込むように十五日に突入したのです。皆様のこの選挙に賭けた熱い情熱を肌で知りました。各市町村、遠くは東京、関西の同窓会からも、直接間接に強いご協力をいただいたことに深く感謝します。有賀市長の信念・公約・実行力を信じ

て戦った結果ですが、それにも増して、敵しい選挙戦を通して、同窓生の強固な結果が確認されたことが最大の収穫でした。同窓会という組織は他の組織と異なり自然発生的なものであります。父母の下に集う子供達のように皆が結束しました。愛し合ったということ、生き合ったということと同義語です。これが教訓でした。

国に発売されたことは知っている方も多しと思います。人生の不確かさの中にある愛の絆の哀歌を訴え、限りある生の営みを「終わりのない船出のために闘う兵士」と象徴し、(時は巡り花は褪せても志を果して眠らん)とリフレインしています。校歌の四番(若き我等は務をおえん、若き我等は事なしおえん)を連想させませんか。

国に発売されたことは知っている方も多しと思います。人生の不確かさの中にある愛の絆の哀歌を訴え、限りある生の営みを「終わりのない船出のために闘う兵士」と象徴し、(時は巡り花は褪せても志を果して眠らん)とリフレインしています。校歌の四番(若き我等は務をおえん、若き我等は事なしおえん)を連想させませんか。

母校近況

先輩の熱い期待感じ

中村節好

松本県ヶ丘高等学校校長

さて、母校の近況についてお知らせし、皆様のご理解を得たいと存じます。まずクラブ活動につきましては、昨年サッカー部が全国高校サッカー選手権大会県予選において優勝を収め、全国大会出場を果たしました。去る一月三日、川崎市等々力競

関係者の皆様と地元関係者によつて編成された大応援団による応援風景に改めて母校に寄せる先輩の皆様方の熱い期待を感じました。

サッカー部以外では、陸上、空手、将棋等が全国大会出場

大野同窓会長、有賀松本市長を始め、県陵第十四回同期会の皆様のご臨席を賜り、盛大に挙行いたしました。その際、十四回同期会の皆様には恒例になっております母校愛りレターとして多額の浄財を頂戴いたしました。更に同期会の皆

本校は本年もまた、県教委の学力向上推進事業、特色ある学校づくり推進事業の指定を受けて活力ある学校づくりに鋭意取り組んでいるところであります。小松武平先生の三大精神を不易のものとし、情報化、国際化、高齢化、価値観の多様化といった社会の変化が予想される中で、社会の変化に主体的に対応できる能力をもった人間の育成と、豊かな心をもった人間の育成と、生きる人間の育成に努めてまいりたいと存じます

三井ホームハウジングパートナー
長野中央ホーム株式会社
 代表取締役社長 **百瀬方康** 中22回
 〒390 松本市宮瀬1-330 phone.0263-33-4500
 fax.0263-33-4572

弁護士
石川元也 中21回
 石川元也法律事務所
 【事務所】〒530 大阪市北区西天満6-9-13 西天満ウエストビル
 phone.06-362-2701 fax.06-362-2702
 【自宅】〒665 宝塚市御殿山2-31-51-104 phone.0797-85-0813

美鈴産業株式会社
 代表 **塩原貞文** 中7回
 〒390 長野県松本市東1-8-5 phone.0263-32-1578
 〒145 東京都大田区田園調布2-9-95 phone.03-3721-3677

「ありがとう」の気持ち

根本静夫

東京同窓会名譽会長(中五回)

勉強がきらいだった私のことを心配した私の祖母によつて、私は二一中に入るとすぐ、英語の三浦先生の家に預けられたのであった。根っから勉強がきらいの私に、三浦家での生活がつとまるわけがない。

そこで先生に「とつてもだめですから寮にでも入れて下さい」とお願いしたところ、今度は、寮の室長をしていらした樋口さんの部屋に入れられてしまった。樋口さんに「僕は勉強がきらいだからついていけない」というと「それな

ら宮本という優秀な生徒がいるからその部屋に入りなさい」ということになった。ところがこの人がまた勉強の虫で、そんなところに私を入れて、無視やら勉強しろといつてもだめなものだめなのであった。

一年先輩の高山さんにさそわれて早稲田に入り、苦勞して卒業した。

問屋の看板もなにも無しに、富士と八幡に毎日通いつめるうちに、人の気持ちは人に通ずるもの、販売部長が係長を

紹介してくれ、ついに念願の仕事がもたらえた。インドの鉄鉱石三万トンをわけてもらったのである。ところがこれが退船をくって大損失を出した。「そらみろ、いわないことじゃない」といいたが「このまじや気の毒だから」というので三万トンが五万トンに増え、次いで十万トンにもなった。この時、問屋の看板ももらったのである。それが東南貿易である。

永野重雄さんの一の子分、金子さん(日新製鋼元社長)が、永野さんを説いて、認めさせてしまった。その金子さんが木下商店を紹介してくれ、「おい根本、会社を始めるのにも金が無いだろう。ここに新聞紙につつんだものがあるから資金にしなさい」と木下さんがいう。「ありがとうございませう、それじゃお借りします」といふと木下さんが怒り出してしまった。「一人前の口をきくな。これから会社をやるよというものに、借金が返せるか。お借りますというのは、返すことができる者がいふことばだ。お前にそれができるはずがあるまい」。で、はたと困った。それじゃ

「ありがとうございませう」といつてもらうて行くほかない。このお金で店を持った。世の中は、甲がいくつあるか、とか勉強が出来るか出来なにか、なんぞではなく、お世話になった人に、感謝し、「ありがとうございませう」という気持ちを忘れないこと、これが最も大切なことである、この時痛切に感じた。頭が良いか悪いかなどは、私の生きる世界では通用しない。中学から大学を通して、そして会社を創業するまでの間に私が学んだことの本質がそれであり、それは私の生き方を決定してきたのであった。(談)

東京同窓会の皆さん、母校松本県ヶ丘高等学校が創立七十周年、東京同窓会が創立十五周年を迎えられ、おめでとうございます。衷心よりお祝いを申し上げます。愛称「泉陵」と親しまれてきた皆さんの母校が、卒業生各位の青春の日々の心の爪あとであるユニークな歴史と伝統を築き、保持しながら七十年の今日に及んでいることは、まことにすばらしいことであります。

歴史とか伝統というものは、それが古いから、長いから価値があるという考え方もさることながら、それがいかによりに生きていくかということこそ、その学校の伝統、教育の永遠性があるものと思ひ

ます。従つて、高等学校の伝統の真髄は、卒業生の生きる姿の中にあるものだと考えています。つまり、生きている歴史であり、伝統である卒業生の皆さんの活躍発展こそが母校の永遠の命であり伝統で

みなさんが、社会や家庭のそれぞれに分野で活躍され、しかも泉陵の同窓生であることを連帯の絆として、お互いの成長発展のため、こまやかな人間的接触を求めて東京同窓会を結成し団結を強固にされ、

の熱心な活動による誇り高き成果であります。深甚なる敬意を表する次第であります。母校創立七十周年、東京同窓会創立四十五年を契機に、このすばらしい東京同窓会が二十一世紀をめざして、めざましく躍進されることを衷心よりお祈りして、次の三つのキーワードをお贈りさせていただきます。お祝いのことばといたします。

第一のキーワードは「新たな飛躍の十年」であります。第二は「伝統と創造」で、輝かしい伝統の上に新しい時代にふさわしい同窓会づくりの推進であり、第三は「団結」であります。

あると思つています。東京という日本の政治、経済、文化の中心地に泉陵の生きていく歴史であり、生きていく伝統である東京同窓会の

母校愛に燃えておられる姿は、まさに泉陵七十年の伝統と教育が日本の中心地に生き生きと躍動している証拠であり、四十五年にわたる東京同窓会

母校の永遠の命

日本の中心に躍動

小澤肇

長野県高等学校同窓会連合会会長

あると思つています。東京という日本の政治、経済、文化の中心地に泉陵の生きていく歴史であり、生きていく伝統である東京同窓会の

あると思つています。東京という日本の政治、経済、文化の中心地に泉陵の生きていく歴史であり、生きていく伝統である東京同窓会の

あると思つています。東京という日本の政治、経済、文化の中心地に泉陵の生きていく歴史であり、生きていく伝統である東京同窓会の

あると思つています。東京という日本の政治、経済、文化の中心地に泉陵の生きていく歴史であり、生きていく伝統である東京同窓会の

あると思つています。東京という日本の政治、経済、文化の中心地に泉陵の生きていく歴史であり、生きていく伝統である東京同窓会の

あると思つています。東京という日本の政治、経済、文化の中心地に泉陵の生きていく歴史であり、生きていく伝統である東京同窓会の

アルハンの信頼で 電話1本で宅急便利用!
県産生O.B.特別割引!

オオツキ
ゴルフ
プロショップ
〒253 神奈川県茅ヶ崎市
東海岸南2-1-1
phone. 0467-87-0228

代表取締役 **大月実** 高4回

autolook

株式会社 **オートルック**

代表取締役 **篁 昭平**
(高校第3回)

本社 東京都港区高輪1-3-20
〒108 TEL 03-3446-8939

山岸光臣法律事務所

弁護士 **山岸光臣** 高3回

〒101 東京都千代田区佐久間町1-14
第2東ビル8F・801号室 phone03-3255-2700/3255-2709

同郷の諸兄からのメッセージ

貴校創立七十周年そして東京県ヶ丘同窓会も四十五年と永きよき伝統に培われ将来に向かつて発展する節目の年度をお慶び申し上げます。このたびは計らずも僚友校のよしみをもって編集委員より原稿の依頼を下命され誠に光栄の極みであります。貴校輩出者には多くの方々が社会活動に貢献されておられ他校からは羨望的でありその上に校友間の団結も強く目を見張るものがあります。それは瞬時にできたものではなく多くの先達者の並々ならぬ御苦勞の賜

松本県ヶ丘高校東京同窓会の皆様、学校創立七十周年おめでとうございます。そして東京同窓会のご活躍も数えて四十五年を迎えられ、それぞれのお慶びもまた一段と強く感じられておられること、推察申し上げます。併せて「会報あがた」の発行を心からお祝い申し上げます。同窓の皆様は青春の日々の心の爪あとである伝統と歴史、そして各々のご活躍、ご発展こそが母校や皆様の永遠の命であると思えます。日本の政治、経済、文化の中心である東京におい

僚友校の契を強め

百瀬隆人 松商学園京浜校友会会長

であろうと思われます。このよき伝統を一層強固にされ時代の変遷による若人達の糧となるよう御努力され益々の県

運営並びに時代にマッチした教育方針の建て直しなど数多くの問題も山積してはおりますが我々京浜校友会も積極的

上がらず困惑しているのが現状であります。それに比して貴校は公立校でもありやもすると母校の現況から遠のくおそれもあろうかと思惟されますが、何れにしても現代があるのは矢張り青春を育ててくれた母校があるからに外ならないのであり、今日の七十年の歴史に立脚し未来の栄光の為に校友諸兄の御活躍をさ

青春の日々の爪あと

中藤照美 松中深志東京同窓会会長

て各分野で活躍中の皆様が、同窓生であることを連帯の絆として、人間的な交わり、組織の充実を計られている姿が接しますと、ただただ頭の下

その証拠に東京生活四十年になりませんが、たえず帰郷しています。そして現在も数多くの同郷会や同窓会に出席させていただき、人々にふれ、方

だいておりますが、盛大な賑わいと、和気あいあいの雰囲気を感じて慶びのことときを過こさせていただいております。アイデアをこらした盛り上りにはただただ驚き、感心するばかりです。会長さんをはじめ役員、幹事の皆さんのご苦勞は大変なものと思察いたしております。これからも同窓生の皆様より一層のご健勝、東京同窓会のみならず、ご発展を祈念いたし「会報あがた」の誌上をおかりして御礼申し上げます。ご招待を受け出席させていた

ご招待を受け出席させていた

自費出版

あなたの本をつくりませんか

株式会社 草風館
内川千裕 高7回

〒101 東京都千代田区三崎町3-10-21
phone.03.3262-1601 fax.03.3262-1602

ラビットツアー

日本エアビジョン株式会社
運輸大臣登録一般旅行業第482号

代表取締役社長 中島吉比兒 高7回
(義彦)

〒100 東京都千代田区有楽町2-3-5 隆和ビル
phone.03.3572-4541(代)/3572-9631(銀座)/3572-4550(中嶋)/
3287-2871(交通会館)/3257-2541(八重洲)

株式会社平林デザイン

平林忠雄
高6回

〒102 東京都千代田区麹町4-2 第2麹町ビル2F
phone.03.3234-5391

松本市長

有賀正氏インタビュー

私は昭和十八年に、当時の松本第二中学校に入学しました。戦争中であつたものですから、勉強よりは勤労奉仕――農家に農業を手伝いに行ったり、学校の林の下葉を切ったり、たき木を学校に持って来たり、そんな勤労奉仕や、あるいは銃剣術とかの思い出の方が強く鮮明です。それから二年たつて敗戦になりました。当時は大変革期で、中学は四年でも卒業でき、五年でも卒業できたのでした。四年か五年で卒業すると松本第二中学の卒業免状がもらえ、さらにもう一年行くと、こんどは新制高校の免状がもらえました。つまり卒業の機会が三回あつたわけです。

私は高校に進みました。こういうチャンスを与えられていたのは、私どもの一年上の先輩、私ども、それから私どもの一年下、つまり二四、二五、二六年卒業の三年生です。一年以上の方々は中学の四年と五年でほとんどが卒業され、新制の高校に進んだ方は百人に満たない数でした。しかもこの方々は高校に進級したそ

校名や帽子の白線も生徒会で決めた



五十道隊の将校との軍事教練で行軍する二中学生

の年が、大学受験を目前にひかえた高校三年にあつたつていたのです。そんな事情で、私どもの学年、新制高校でいう

二年生が、数の上でも多く、しかも動きやすい立場にあつたために、生まれたばかりの高校の諸制度を作り上げる作

が、すぐそばにありその帽子には筋が入っていたのもです。もうひとつ、二中は、とても大人しい校風をもっており、

「県陵高校」案も

さて具体的に私どもが決めたことですが、まず徽章については中学の「中」を高校の「高」に変えた以外は、その徽章が私どもは好きだったので、デザイン的に清潔簡素、意味するところ明瞭、この徽章にあがれて二中に似たほどこです。帽子には二本の白筋を入れました。これにはこんな経緯があります。まず、あこがれの旧制松本高等学校

第一中学や松商にくらべると、二中、県ヶ丘は、質実剛健ではあるけれども、外に向かつて爆発するような積極性に欠

れもいけれど、検舞台ではつらつと、闊達に振舞つてもいいのではないのでしょうか。そんな気持ちも働いて、きつ

けていました。これは今も続いていて、どちらかというと縁の下の力持ちに徹しようとしています。私にいわせると、そ

と他の学校では入れないだろう二本の白線を、我々は入れて、どこからでも見わけられ堂々と目立つようにならう、ということになったのです。校名を決めたのも生徒です。「県陵高校」もあり、「御塚」があり、「県ヶ森」という案もありました。これも私が司会をして「県ヶ丘」に決まりました。



松本県ヶ丘高等学校 同窓会副会長(高二回)

業を實質的に担うことになりました。

校名の決定、帽子に二本の白線を入れること、生徒会の規約の制定など、こうして、すべて私どもが先達の役割を果たしました。たまたま私の家が、地主――であつたのですが、農地解放にかかつてしまったために、私自身は大学進学をあきらめ、家に入ることに決めていたので、それほど勉強に追われることもありませんでした。そこで私は生徒会規約起草委員長とか、応援隊長とか、演劇部長とか、生徒会の副会長とかをやつて

いました。学制改革の渦中で文字通り草創期の県陵時代を過しました。第二中学校生としては第二十二回の卒業生、県ヶ丘高等学校としては第二十二回の卒業生ということになります。

先生方も自信を喪失され、生徒に多くをまかせるといつたところもあつたように思っています。昨日まで戦争々々と言っていた先生方が、今日はその手のひらを返したまうに民主主義の教育現場に立たされたわけですから当然といえば当然です。平和憲法の戦争放棄とか、象徴天皇の「象徴」という言葉について、社会の時間にかみくだいて教えていたことが今も印象に残っています。しかし先生方が、突然の民主主義にとまどつていらしたのも事実だったのでないでしょうか。

株式会社 渚石材株式会社
代表取締役 木下勝四郎 高14回
本社 千272 千葉県市川市東菅野4-30-3 渚中央ビル
phone.0473-39-233代 fax.0473-38-194

コンピュータグラフィクス

アニメーションから静止画まで
有限会社 ● スタッフルーム エッチ・ピー
STAFF ROOM 東京都新宿区四谷4丁目21
トレス四谷201
phone 3356-4054代
fax 3356-4515
代表取締役 金田全央 (高9回)

私の卒業の時に担任であつた先生が公保徳雄先生とおつしやる生物の先生です。公保先生が、卒業する私を送り出す時に、「有賀君は大学に行かないでかわいそうだが、市会議員が県会議員か、政治家になつてくれたまえ」と言つて下さつた。今でも思い出します。

「君は将来県議に」

私はその時、市議員も県議員も、ほとんど関心はなかつたのです。たまたまその年に同じ町の、丸山道雄君が深志を卒業しました。彼は深志を総代で卒業した秀才でしたが、二人して、新しい農村を創ろうではないか、と語つて、並柳に入ったのでした。そんなふうに入つて、

今は「農業賞」となつていますが、当時のNHKの「優秀農家」の甲信越の一位になつたり、毎日新聞社主催の農業コンクールの経営部門で全国一位の農林大臣賞を受賞したり、それから並柳地区が朝日新聞の農業賞を受賞したりで、当時三冠王といわれたほどで

た通り、やつぱり君は県議選に出ることになつたか」と。というわけで恩師に松本市内を紹介していただきました。公保先生は御善子でいらしたのですが、日本銀行のすぐ前

にある松本藩の家老の家柄で、義理の父君は松本信用金庫の理事長をなさつた方です。公保先生は松本市内にとても顔が広くていらしゃいました。四十六年に三九歳で県議員に当選させていただき、二、三年たつて同窓会の副会長をお引受けすることになりました。新制高校では初めての副会長ですが、それから二十年も副会長をさせていただいております。小林庄司前県議が副会長でいらつしやいますが、ご高齢で、ご病気がちなので、私が古株の副会長ということになつてしまいました。

と、ほとんどの中学生が県ヶ丘に行きたいというそうです。第一回目の応募者数の発表の段階では毎年必ず、県内で一位か二位の高倍率になるのはそのことを雄弁に物語っています。あまりに競争率が高すぎるので各中学で調整して、受験者数を減らしているのが現状です。それでも毎年かなりの不合格者が出、今年も約七十人が不合格となり県下一の難関校となつております。また卒業した同窓生の姿を、生徒が敏感にとらえ、その伝統を、人間形成という意味での学校教育の三年間に、わがものとしようとしています。こうして日々つちかわれ脈々と受けつがれる伝統、校風が、ひるがえつて今は、県下八十数校の高校中、最も志望者数の多い高校に県ヶ丘をしてい

人を立てる校風

県下一の高倍率が物語る

全国で活躍されている同窓生が沢山いらして、とても心強いことです。県庁に行つても、同窓生であるということ、県会議員である私のところに、県職員の方が心安くきてくださつたり、あるいは私どもから仕事をお願いしても、なんでも引き受けて下さる。そういう県ヶ丘の連帯感はとても強いものです。

しかし総体としてみると、非常にひかえ目なのではないのでしょうか。政治家になつた私どもが、むしろ例外で、全体としては非常にひかえ目であり、良い意味で派手やかで積極的であつてほしい、という願いを込めて帽子に二本の線を入れたのですが、その願いは必ずしも十分には叶えられていません。県ヶ丘の校風

は、自ら目立つのではなく、人をたてて、自分は縁の下の力持ちをやる、という傾向が強いと思います。進め進めるタイプとは言えましょう。市議員にはずい分と同窓生がおり、穂高や岡谷からも同窓生が県会議員になつております。しかし私も含めて政治家は例外です。一般的には実力があつてもむしろ人を押し立て、これを支える。連帯して事にあたらうとします。それだけに友達の間の絆はこのほか強いものがあり、たとえば卒業三十周年の記念事

業を例にとつても、いろいろな高校でやり始めてはいるのですが、ほとんどが一、二回で途絶えてしまいます。ところが県ヶ丘ではそれがすでに十四年も続いている。これなども県ヶ丘の校風のみことな証です。

私は目立つことだけが良いことである、と言いたいのではありません。このような県ヶ丘の校風はすばらしいものだと思ひます。そのことに敏感に反応して、中学生が県ヶ丘に殺到する。競争や選抜試験がなかつたら、どこの高校に通学したいのかとたずねるの熱くなる思いでした。

財団法人 穂積社会事業財団

理事長 木下勝四郎 高14回

〒130 東京都墨田区江東橋4-29-13 中央ビル
phone.03-3635-6566

長野県議会議員

もち づき ゆう ない
望月雄内

高13回

望月雄内後援会事務所

南安善郡穂高町大字穂高2422 phone.0263-82-9446

トキン株式会社

取締役 西牧憲司 高11回
副社長

〒151 東京都渋谷区千駄谷3-1-1 phone.03-3478-5211(大代)

大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

田園都市構想

松本のビジョンとして、二十一世紀に向けて、田園都市構想を掲げて、三十万都市、百万経済圏を作るプランを提案しているところです。人口は自然増もあるかもしれませんが、松本を核として、吸収というのではなく、塩尻市とか波田町とかいう市町村の、それぞれの伝統や文化を重んじながら、三十万都市に向かって合併をしたいと考えています。

内容を含んだ音楽祭にしたがい、またそうなることを確信しています。また、いま松本に一番欠けて

ているのは美術館です。絵画、音楽など芸術を中心とした都市づくりを心がけたいと念願しています。長野自動車道が長野まで、来年には完成しますし、再来年にはジェット機離着陸が可能な飛行場が完成します。安

房トンネルも一九九八年には開通予定で、中部縦貫自動車道と北陸自動車道が結ばれる。松本は長野県の中心であり、日本の中心です。長野に県庁があるかぎり、政治の中心が長野に行くのはともかくとして、経済と文化の中心は松本

です。信州大学の本部は松本にあります。短大や四年制大学の誘致を積極的に進め、学園都市で、芸術都市であり、そして工業商業都市である、そういう都市にして行きたいと考えております。

このビジョン全体が私がいう田園都市構想です。中信平の田園をもとに、松本、塩尻あるいは明科、豊科、穂高などそれぞれに都市機能をもった都市を中核にして、全体として五十万都市を構造化して行きたいと考えています。この構想の全てを、私の市長の在職期間内に実現することはむずかしいかもしれませんが、しかしビジョンを鮮明に高々と掲げることが必要だ、と確信しております。

三十万都市のビジョン ハイレベルな音楽祭も



旧東ベルリンでのサイトウ・キネン・オーケストラ

今とりくんでいるサイトウ・キネン・フェスティバルは、五、六億円の予算が必要ですが、松本市としては、本体に一億円、その他の経費として六千万円ほど計上しています。県も一億円を拠出しています。これは、ヨーロッパでいえばザルツブルクの夏の音楽祭に匹敵する音楽祭に行きたい。相当にハイレベルな、重

現在の二十万都市では、それだけのボリュームになりません。そこで三十万都市を目指します。ここで三十万都市と言っているのは、塩尻、松

本、それに東筑摩郡で、これだけで、三二万になります。一方、七、八、年前に県の合同庁舎が出来ていますが、この合同庁舎の行政範囲には

安曇地区が含まれています。豊科、穂高から上高地までです。これらの地域を加えると、四十万に到します。二二世紀になると、新幹線

はともかく、在来線特急でも松本と東京は一時間半で結ぶことができるでしょう。飛行機ならば、一時間前後で各地に飛べます。このような交通

奈川村の村長、穂高町の収入役、安曇村の助役、梓川村の助役さんなど皆、県ヶ丘の出身です。私が訪ねますと、たいへんに喜んで下さり、「ぜひ一緒に連れて行って欲しい」と言っています。田園都市構想は決して夢物語ではないのです。

恩師より

素直さがすてき

松井富美

県ヶ丘の生徒の良い所は、素直なの。それは先生に反発もしますよ、けれど道理を述べて行くと、なるほどそうです、と納得してくれる、自

分の意志だけに固執してつづばり通す、というところが面白い、と思う。わりあい素直なものを受け入れられるから、授業もスツと頭に入るんじゃないかしら。

県ヶ丘の生徒は人を押しよけるということができない。人を押しよけてまでやろうというところが、見ていると、皆

できない。たとえば、自分が勉強してきて、隣の生徒が当たって困っていたら、一所懸命教えてやる。私は六十年先生をしていて、他の学校の生徒も見えています。県ヶ丘の生徒は友達を大切にします。そういうところ、私は素敵だと思ふの。

だから世の中に出ていっても自分のものをのぼすことができる。自分一人だけのびようとするのはなくて、ほかの人も一緒にのびるように手をのべていくから、ほかの人から信用されることになるんじゃないの。そこが県ヶ丘の生徒の良い所だと思ふのですよ。

東京同窓会の皆様方には、限りないご支援をお願いし、また郷土松本平の二十一世紀に向けて高らかな希望を持ち続けていただくようお願いいたします。

開戦の年に赴任

松田文人

私が松本二中に赴任したのは昭和十六年四月、二十四歳の時でした。戦時色の強い頃であり、その年の十二月八日、朝野学校の宿直室のラジオから大日本帝国海軍がハワイの真珠湾を奇襲し、米英両国に宣戦を布告したというニュースが流れた。大東亜戦争の勃発である。このニュースを聞き私は愕然とした。世界の二大強国と戦って果して勝利を収めることが出来るのか、無謀な戦をおこしてしまつたと考えたのは私一人ではなかつたと思う。国挙げて戦争遂行に突進した。学校においては軍事教練が強化され、配属将校の権力が強く、教練の時間がオーバーして次の時間に食い込むことがしばしば、教室に行つても生徒がいない、私は全くけしからんと生徒のままであたり散らしたものである。

又、農繁期の農村に向向いての勤勞奉仕、市内の他校に比べて、期間も長く、本校だけが農村に宿泊、私は学力低下を来す誠にけしからんと校長の方針を非難し、生徒に勤勞奉仕の日数の短縮、宿泊廃止を校長に申し出るようけしかけたが、笛吹けど踊らず、真面目な生徒は、この悪徳教師の煽動には乗つてこなかつた。戦争は初めは輝かしい戦果をあげたが、翌十七年六月ミッドウェー海戦の敗北を契機として戦局は私の予想通り不利になって来た。昭和十九年には米空軍による本土空襲が激化し、東京の住民は戦火を避けて続々と田舎へ疎開して来た。その最中に、我が国有数の進学の名門校東京都立四中(現都立青山高校)白沢清人校長(明盛村出身、松本中学、東大国史学科の先輩)からは是非来て呉れと懇願された。当時未だ二十八歳のチヨンガ、松

私は母校県ヶ丘に二回勤務しましたが、最初に赴任したのは、学制改革で、新制高校が誕生した昭和二十三年で、高校の一回生が三年生の時でした。

△校名は「松本県陵高校」がよいとか、
△生徒が帽子に二本の白線を入れるよう希望しているが認めるかどうか。
△校章の高の字は高島屋の「高」で気に入らないとか。
△一方、同窓会PTAの間

本の学校に居ても、東京の学校にいても、どうせ軍需工場に動員される生徒の付添、戦争も早晚日本の敗北で終わる。戦後、都立四中に転出するというのはライバルも多く非力な自分には至難の業と考え、周囲の反対を押し切つて昭和二十四年四月都立四中に赴き、白沢校長に多くの者が疎開する中、よく来て呉れたと感謝された。この都立四中に奉職したことが将来宮城県へ招かれる機縁となつた。都立山高校在職三年五月、昭和二十三年八月、松本県ヶ丘高校の羽生功校長(旧制松本高校、東大の先輩)から是非戻つて来て呉れ、私の母親も望んでいるとのことで東京での食料難、住宅難で苦しんでいるよりはと考へ、古巣、なつかしい県

ヶ丘高校に戻つて来ました。県ヶ丘高校に参りましてからは山が好きであつたので、余り他の先生がたが引き受けな山岳部顧問を進んで引受け、山岳部発展に力を注ぎ、夏休み中、家の事、妻子のことも考えず殆ど上高地小梨平の県ヶ丘高校のベースキャンプに駐在、山岳部員のみならず一般生徒、他の高校の山岳部員大学の山岳部員の面倒を見てやり、自他共に認める小梨平キャンブ村長カマスになつた。カマスというあだ名は松本二中時代に生徒からもらったあだ名である。山男カマスの存在が上高地、北アルプスでクローズアップされた。二十七年六月蟻ヶ崎高校に後髪を引かれる思いで転出した。蟻ヶ崎高校に参りまして山岳

部を創設させ、あだ名カマスも引きつがれた。県ヶ丘高校前後八年間、良き生徒に恵まれ楽しい時代でした。

蟻ヶ崎高校でも小梨平にベースキャンプをおき夏休み中、生徒の集団キャンプを始めました。蟻ヶ崎在職五年十月、昭和三十三年四月、宮城県からの招きを受けて仙台一高の教頭に転出、宮城県第一女子高校校長最後に五十二年三月定年退職まで、宮城県教育界に働かせていただきました。その間昭和五十年に、わが国の教育功績者として文部大臣表彰を受け、昭和六十三年には勲四等瑞宝章授受の光栄に浴しました。これらの栄誉も松本二中、県ヶ丘高校で良き生徒に恵まれ大過なく勤めさせていただきましたおかげと感謝しております。

謝致しております。松本二中時代にいただいたあだ名、カマス、萬葉仮名にして、「加萬寿」、私の号にして、死後戒名にこの「加萬寿」の三字を入れていただき、未来永劫に県ヶ丘高校の楽しい思い出を伝えたいと思います。松田という先生の名前は忘れたが、カマスなら知つているというのが県ヶ丘、蟻ヶ崎高校の同窓生だろうと思う。仙台での仕事も本年で終り、来年四月には古巣松本の和田に帰り、本年七十五歳ですので残り少ない余生をカマスの生活を送るつもりです。終わりにあたり松本県ヶ丘高校東京同窓会の限り無きご発展をお祈り致し筆を置きます。私の追憶の話になつてしまつて申し訳ありません。

ハブを自認した校長

渡辺三郎

【10面上段へ続く】

では、当時市内で県立の男子高校は、県ヶ丘と深志だけでしたので、女鳥羽川を境界とする小学区制を設けてはどうか。

生を始め、北京中学、京城中学(現在のソウル)等々からの転入者が大勢いて、多様な中にも優秀な顔ぶれて活気に満ちておりました。

等々、様々な意見が出されてきたものでした。また生徒は、東京や名古屋方面からの疎開や、外地からの引き揚げの関係で、大都市からの中学

が旧制の台北高校だったことから、生徒からは「ハブさ」と愛称されておりました。先生自身も、俺は猛毒をもつた「台湾ハブ」だと自認していました。

当時の県教委の諸氏からは「獅子」といわれ、怒られる獅子となつて、噛みつかれないよう、気をつかつていたと聞いておりました。

当時は衣、食、住もまだまだ十分ではなく、タバコよりはパンを求めるとの頃でしたが、全校集会の話の中で校長は、人はパンを求めると

に生きるに非ず……人生何のために生きるべきかを説く一方、県ヶ丘在職時の二中の卒業生の中には、いまだに市長は勿論、一人の県会議員も生まれていないという事は、どうしたことか(当時のこと)と嘆くと共に、生徒に鞭を叩いて多感な高校生の中に校長の嘆きを吹き飛ばしてやるうと心に期し、年月をかけて着々と足がたがをしていった男がおりました。それが今回松本市長に当選した有賀正

〔9面より続く〕

天下無双のモサ

佐藤静雄

月日は百代の過客にして行きかふ年もまた旅人とか、わが県ヶ丘も長い旅を続け、校歴七十年、親愛なる東京同窓会も四十五年の賀齢を迎えるにいたった。同窓生も二万の多きにいたり、当然ながら松本付近に最も多く居を構え、故山にあつて活躍しているが、殊に本年は有賀正君(高二)が松本市長に選出され、断然光彩を放っている。次は何としても東京に一番多く集まり、同窓生各位はそれぞれ社会の重要ポストに、或いは中堅選手として各分野に活動され多士済済、まさに百花繚乱の頼母しき姿である。会報編集者の言葉に「時間の大河の中から母校や東京同窓会の跡をこ自身の歴史と重ねあわせながらすくいあげ」とあるが、母校のたたずまい、森の茂み、山なみの青さ、そして丸い顔、四角い顔、あれやこれやをその念頭に浮かべ、過ぎし日の回想をなつかしみ、おのがじし自分史の一頁にあるべき姿を発見されたい。あの日、あの頃と忘れかけた泉にも、又、

氏その人でした。彼が大意をいだいてその初志を貫徹した。その努力に対し、満腔の敬意

と祝意を送りたいと思います。さて東京並にその周辺には、大勢の同窓生がおられるので

すから、各回の同期生を中心にとした横の連絡と共に、縦のつながりを深めることは、お

互いの交流と、発展のためにも、大いに役立つことと思ひます。年一度のこの会台が、

楽しみであり、麗しい会として益々発展されますことを祈つております。

だに想い出されるが、根本、深沢、大野、中沢(以上中五)三村(中六)の面々である。その中の根本静夫氏(中五)は、初代本会の会長であつた樋口和博氏(中二)の後を引き継ぎ先頃まで本会の会長を長くつとめられた人だ。(ついでながら根本氏は早稲田時代に松本へ初めてレスリングを紹介したのだと思う。私も建国座へそれを見に行ったことを覚えてる。)樋口、根本両会長は心を併せ本会のため、誠心誠意尽くされ、本会の基盤を固められた。次いで現会長の大

沢清重君(中十二)は最初から本会のため身を挺して働いており、私も五年間授業に出たので本当に縁の深いものがあつて、家族ぐるみの往来が続いている。その他本会のため献身奉仕されている方々が多数おられるが、その中の一人とりわけ塩原貞文君(中七)の熱意溢るる努力には常に敬意と謝意とを捧げている。かくて終戦直後また二度目の勤務となり、新制高校の誕生で、百八十度の方向転換となり、新制度の消化吸収については、尋常ならぬ苦心をし

たことも想い出される。教科の編成、教科書の手配、各講座の組立、生徒会の発足等に追われたが、校名、徽章の選定、帽子に白線を入れるかどうかというようなことでもなつかしい問題であつた。生徒会の新発足などについては、川上嘉則君(高二)、有賀正君(高二)などが活発に働いてくれた。とりとめもない勝手なことばかりでしたが、これで失礼します。各位の健勝を祈ります。

いつ頃からでしょうか、卒業三十年目の当該年次生が会を取りしきる形となり、懇親会に移ると、役員が赤い法被をまとい、舞台回しに汗だくの奮闘ぶりでした。またいつ頃からか、新しい試みとして、新卒の在京同窓生が招待され、ホームシックもあつてか多数集まり、会議や挨拶は迷惑顔ご馳走を前にして垂涎しきりの無邪気さ、あどけなさに微笑させられました。時間と共に会場は熱気に包まれ、揺れんばかりの盛況ぶりです。以前とは雰囲気も大分変わつて来たように感じました。

今年、東京同窓会も成立四十五周年の節目の由、それだけに、今年にかける情熱は相当のものとうかがえます。

例年、東京同窓会からのご案内をいただいて恐縮です。それに今年は、編集部から何か書けとの要請を受けました。高十四回生は、今年が卒業三十周年で、母校愛りレーの当該年次に当たり、当時担任の端々だった関係で、お鉢が回つて来たのでしよう。十四回の皆さん、今年は物心共面からご苦労さんです。

さて宿題を与えられ、思案投げ首のところへ、編集委員の中野君から電話で追い打ちをかけられ、恥さらしの破目となりました。

多々、忘却の彼方から一、二思い出を辿つてみることにします。昭和三十六年四月、一年の担任を終えた途端、急に一足飛びに三Dの担任をさせられ、頭を抱えこんだことは忘れもしません。私よりもつと面食

て、強引に押しつけられてしまいました。無我夢中の一年間で、三Dの諸君には迷惑かけました。それだけに、当時の印象は鮮明です。裏話には山々ありますが、何れ肩肩の折りということにします。

次、東京同窓会のごことで、比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

さて宿題を与えられ、思案投げ首のところへ、編集委員の中野君から電話で追い打ちをかけられ、恥さらしの破目となりました。

多々、忘却の彼方から一、二思い出を辿つてみることにします。昭和三十六年四月、一年の担任を終えた途端、急に一足飛びに三Dの担任をさせられ、頭を抱えこんだことは忘れもしません。私よりもつと面食

て、強引に押しつけられてしまいました。無我夢中の一年間で、三Dの諸君には迷惑かけました。それだけに、当時の印象は鮮明です。裏話には山々ありますが、何れ肩肩の折りということにします。

次、東京同窓会のごことで、比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

さて宿題を与えられ、思案投げ首のところへ、編集委員の中野君から電話で追い打ちをかけられ、恥さらしの破目となりました。

多々、忘却の彼方から一、二思い出を辿つてみることにします。昭和三十六年四月、一年の担任を終えた途端、急に一足飛びに三Dの担任をさせられ、頭を抱えこんだことは忘れもしません。私よりもつと面食

て、強引に押しつけられてしまいました。無我夢中の一年間で、三Dの諸君には迷惑かけました。それだけに、当時の印象は鮮明です。裏話には山々ありますが、何れ肩肩の折りということにします。

次、東京同窓会のごことで、比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

一足飛び三年担任

赤羽富男

らったのは佐藤先生でしよう。他校から来てすぐ三年を保持されたのですから。当時清水次郎(通称 清水の次郎長)というワンマン校長がい

が、出させていた。最初は確か、昭和四十年頃でしたか、今の大会会長さんの肝入りと思われ、東京タワー展望台を借り切つて、百名前後の

静かで、なごやかな家庭的雰囲気でした。夜の帳が降りると、眼下にまたたくネオンに瞠目し、ほろ酔い気分も加わつて全くの夢心地、一盞を傾けながら在校時代の思い出に燃焼の一時を過した思い出は忘れ得ません。

比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

比較的近いところでは、昭和六十二年六月、高九回生私(私)が梶原で送り出した最初の担任(学年)の卒業三十周年の年次で、平山町の麴町会館でした。次は平成元年六月、高十一回生の三十周年の年で、この時からアルカディア市ヶ谷が会場になったと記憶しています。

卒業三十周年を記念して行われている「母校愛のルー」は、四月十八日(土)午前九時半から母校体育館において開催された第七十回創立記念式典(六十九周年)に引き続き実施されました。

今回、当番となった我々、高第十四回卒業同期会(昭和三十七年卒業、卒業生三三六名、県陵三七名)は、昨年から実行委員会を構成し準備をすすめてまいりましたが、当日は、幹事役員四十数名が同窓会役員とともに出席し、在校生と交流を深め会中、厳肅のうちに開校式典が行われました。

式典は、中村校長の式辞に

母校愛のルー

報告
中島今朝光
卒業三十周年記念事業
実行委員長(高14回)

高島俊夫君の講演も

4月18日に
行われる

始まり、大野同窓会長と、去る三月十八日に行われた松本市長選挙において、県陵同窓

念品の贈呈が行われました。きた、記念講演会に先きだち、前年度の講師今福正(松本礼児)先輩が講演で朗読した詩「何処へがレコード(歌は森繁久弥)となったことにもない、その経過等を三六六の橋倉会長から紹介していただき

鳥俊夫君(松本市、高島小児科医院)が現在大きな社会問題となっているエイズの病因、病態、予防などについて話をしました。ミニ講演では、各界で活躍しているサブ講師五名が、卒業後の人生経験からの教訓をはじめ、各専門分野

教員、僧侶、の諸兄でした。このように意義のある記念事業が昭和五十五年から始められ、今回で十四回目を迎え、その趣旨が立派に継承され、他校に類のない伝統事業となってきたことは、先輩各位の情熱はもとより、伝統と校風を守る県陵魂の象徴ではないかと思えます。また、卒業して三十年を過ぎると同級生の生きざまにも多様な現象がみられ、年月という時間の意味を深く感じるものです。しかし、人生の大きな節目において、理屈抜きで青春の一ページをしるした母校への感謝という愛の思いをあらわすこの事業は、他の何ものにも代え

がたい価値観を与えるものではないでしょうか。最後に、この度は、東京同窓会の第二十五回目の総会を我々の同期である、東京県陵三七名が当番幹事となって準備をすすめている由、大変嬉しく思っています。全国にくつがある同窓会支部の中でも、東京同窓会の活動は、模範的なものと聞いております。今後とも県陵同窓会の支部活動の牽引力となつていただき、折念事業の報告とさせていただきます。

アルペンゴルフクラブ今昔

寛容の精神養うスポーツ
(高14回) 大月美

平成四年四月二十三日(木)第二十七回「アルペン杯」争奪ゴルフ大会を、三十八名(中十四回)高十五回卒業まで(の)の会員が参集し、緑潤る青葉・若葉の西部園GCにて、青空のもと盛會裡に開催された。二十五年前のスタートが八名であったのだから、今日の隆盛を誰が予想出来たであろうか。会報「あがた」第一号にて、「東京同窓会」再開のための「世話人会」(昭和四

十三年十月一七日)が開かれた事を発表したが、総会再開(通算九回目)の翌年昭和四十四年十一月二十九日赤羽GCにて、第一回のゴルフ会が静かにスタートしたのであった。参加者は、樋口一、一回、丸山一、中三回、白澤一、中三回、塩原一、中七回、塚原一、中一回、乾一、中一回、大月一、高四回。八名は、大先輩七名全て旧制中学卒、高卒は小生唯一人、しかも初心者で三五歳、

ティグラウンドからショットすれどもボールは何処にか飛んで行き、なかなかグリーン近くまで到着しない。グリーン上では、五・六回行ったり来たりの有様だから驚きであった。「アルペンゴルフクラブ」の特色は、先輩・後輩の隔たりなく、和氣藪々の雰囲気であり、しかもストレス解消に、大いに役にたつ「クラブ」であろう。話は外れるが、此の頃より若手諸兄姉が「東京同窓

会」の各行事に対して、積極的に参画する契機になった事は事実であり喜ばしい限りである。小生は常々機会ある毎に披露しているが、意向として同窓会は、若手同窓会員の絶大な協力が必要であり、先輩・後輩は社会に出れば全て平等で(勿論社別は別)、社会的地位のみで「事」を決してはならない、と言ふ考えである。ところで、「アルペンクラブ」の当初の賞品は、「レブリカ」に副賞は「レコード」(当時東芝EMIの故浅輪先輩の寄贈であったのを想い出し、先輩のご協力を謝し、懐

かしい限りである。昭和五十一年頃の夏は、旧軽井沢GCにて松本「本部同窓会」有志との合同親睦ゴルフ会を、三名参加のもと、一回限りであるが開催した事もあった。その後会員と根本先輩(現名誉会長)のご協力により、純銀製「Alpen Cup」が、校章アルペン入りで作成され、今時の「アルペン杯争奪ゴルフ大会」に華を咲かせているのである。此の様な経過を経て今では立派に「東京同窓会」行事の一環として、堂々と親睦ゴルフクラブの報告が出来る様になったのである。此れも

ご奉仕ご協力下さった諸先輩・同志に厚く御礼申し上げます。ゴルフが英国発祥の地として来た紳士スポーツである事、その時々運・不運によって生じる結果を甘受する寛容の精神を養うスポーツとして、今後我が愛する「アルペンゴルフクラブ」が益々発展する様祈る次第である。来たれ、若き同窓会諸君!! 参加希望者は、浜(高八回)代表幹事まで(〇四三・三九一)〇五一九

二人の武平



の友情

校歌「若き我等」に寄せて

桐原俊文
(高七回)

わが愛する県陵の校歌は、昭和四年五月に制定された。開校七年目のことである……。長野県松本第二中学校は、大正十二年四月十七日開校。初代校長は小松武平。本校の校歌が誕生した経緯を、多少の想像を加えて検証してみる。

信時・高野の最高傑作

王ヶ頭から松本平を府敵



校歌碑。右上は小松武平初代校長。

県陵と旧制松本高校を隔てた向こう側、清水が丘に私学の雄である松本商業学校がある。当時の校長は米沢武平。小松と米沢はともに諏訪郡の出身。一方が現在の茅野市米沢で、もう一方がいまの富士見町落合と、いわば近隣同郷だ。米沢の方が七歳年上だが、長野県師範学校から東京高等師範学校へと二人して教職のエリートコースを歩んだ。同郷にして同学同窓、名前も同じ武平で、奉職する学校も隣同志。これだけの条件が揃えば、「両武平」は、公私ともに親しく頻りに行き来した。学校経営に関して互いに相談し意見を交わしたことが想像に難くない。

さて、明治三十一年に創立された私学の松商は、実業教育に力を注ぐとともに、その頃盛んになった野球熱を見越して、大正二年には野球部を創部した。句余年後の昭和三年、

年、「第十四回・全国中等学校野球選手権大会」で見事に全国制覇を果たした。——ところが、チャンピオン・チームになった松商には校歌が無かった。当時は、のんびりしていたというか、開学即校歌制定という事例は少なかった。しかし、校名も知れ渡り、全国区になった学校に、校歌が無いというのも格好がつかない……ということになった。

そこで米沢武平は、長野師範の同窓で友人関係にあった大御所高野辰之に作歌を依頼した。

高野は北信濃は現在の豊田村の出身。東京帝国大学教授の上田萬年博士に師事して、

高野が作詞した全国各地、百余におよぶ校歌の中で、「若き我等」などという、サブタイトルが付いたものは、自慢じやないが県陵だけである。改めて実証主義、現場主義に立つ高野は、資料を取り寄せればかりか、松本の地を訪れ詞想を練ったものであろう。美ヶ原高原・王ヶ頭の頂上り松本平を府敵。西に聳ゆる

サブタイトルは県陵だけ

高野が作詞した全国各地、百余におよぶ校歌の中で、「若き我等」などという、サブタイトルが付いたものは、自慢じやないが県陵だけである。改めて実証主義、現場主義に立つ高野は、資料を取り寄せればかりか、松本の地を訪れ詞想を練ったものであろう。美ヶ原高原・王ヶ頭の頂上り松本平を府敵。西に聳ゆる

かくて生まれた「若き我等」は信時潔の作曲と相俟って、詞と曲が渾然一体……。校歌が制定されて今日まで、わが県陵は一万七千余におよぶ校友を世に送り出した。彼らの

「雄々しき連峰／四表に聳え／瑠璃なす清流／平野に通ふ……」で始まる松商の校歌は、昭和四年二月十一日の紀元節を期して制定された。作曲は、高野と東京音楽学校の同僚・信時潔。ドイツ古典音楽の流れをくむ信時の荘重なメロディーによる校歌である。

米沢は小松に連絡をとる。「オノノ武さんや、松商もやつのことで良い校歌ができたぞ。お前さんどこでも作ったらどうだい」。「ホウ、そりや良かったな。どれどれこれは傑作だ。二中のも頼んでくれるかい……」。てな会話が行き交った。小松から高野への執り成しを依頼された米沢は、快くこれに応じた。さらに高野も頼まれれば、否とはいえ親分肌。——かくて松本第二中学校の校歌は誕生することになった。米沢と小松・両武平の友情と高野の遠心的性格が、ミックスされて後世に歌い継がれる不朽の校歌が登場した。

心底に「若き我等」は焼き付いている。時代を越えても色褪せることなく、不動の校歌として大変に格調高い詞曲である。高野辰之作詞校歌中の最高傑作のひとつに数えられる所以であらう。それにしても、いつの日にかこの校歌をして、甲子園の原頭高く、県陵人こそぞって斉唱したき希いはひとり筆者ばかりのものではなからう……。(高校七回卒業)

うるおいある生活と明か社会をつくる。

日本霊園サービス協会

理事長 **木下勝四郎** 高14回

【本部】東京都墨田区江東橋3-8-7プラザビル
phone.03-3632-4242

船舶備船仲業

ジャパン・チャーターリング株式会社

取締役 営業部長 **森田芳興** 高14回

東京都中央区八丁堀1-3-2 phone.03-3552-7801

株式会社松本岡谷組

代表取締役社長 **百瀬方康** 中22回

〒390 松本市宮淵1-3-30 phone.0263-32-8855代